

平成 29 年 6 月

平成 30 年度 筑波大学大学院システム情報工学研究科  
社会人のための博士後期課程早期修了プログラム  
履修審査案内および説明会

社会人特別選抜でシステム情報工学研究科博士後期課程を受験し、合格した方は、裏面に示す発表論文数その他一定の条件を満たし、履修審査に合格すれば、「社会人のための博士課程後期早期修了プログラム」の履修を認められ、最短一年間で課程博士の学位を取得することができます。ここでは、このプログラムへの履修審査に関して案内します。

履修が認められるか否かは、本研究科の各専攻が判定します。この案内をお読み頂いた上で、各専攻の web ページに掲載されている情報も合わせてご覧下さい。不明な点は、各専攻の専攻長等に e-mail でお問合せ下さい。問合せ先は、募集要項に記載されています。

社会人早期修了プログラムの履修審査は、入学試験後、入学手続き期限までに行います。審査方法と審査書類の詳細は各専攻によって異なるので、該当専攻の案内に従って、書類を提出して下さい。

履修が認められた場合、各専攻が定める一定の単位を取得し、中間審査を経て、学位予備審査に合格した後、本論文の作成に入り、本審査の合格を経て課程博士の学位を取得することができます。

裏面の表は、各専攻が必要とする論文数等と履修が認められた場合の必要単位について記しています。より詳細な説明は、各専攻の案内をご覧下さい。

また、履修審査にあたって、以下に示す 7 つの項目について自己評価をして頂きます。記載にあたって、各専攻の web ページに記載例が掲載されていますので、そちらを参考にして下さい。

なお、審査書類作成にあたっては、指導を希望する教員と事前に相談して下さい。なお、事前の相談は、「博士後期課程社会人特別選抜 (2 月期)」の出願者は、できるだけ 2017 年 12 月 1 日 (金) ~ 2018 年 1 月 10 日 (水) の出願期間以前に行ってください。

※本プログラムに関する詳細な情報については、早期修了プログラムホームページ (<http://www.souki.tsukuba.ac.jp/index.html>) にてご確認ください。

**参考 (社会人博士後期課程早期修了プログラム達成度評価項目) :**

- ① 専門基礎：入学者の専門分野について、博士の学位にふさわしいレベルの基礎能力を有しているか。
- ② 関連分野基礎：専門に関連した分野について、専門分野ほど深くはないとしても、博士の学位にふさわしいレベルの基礎能力を有しているか。
- ③ 現実問題に対する分析力：現実の問題について、博士の学位にふさわしいレベルのセンス・見識を備えているか。
- ④ 広い視野：博士の学位にふさわしい視野の広さを有しているか。
- ⑤ 問題設定から解決まで：専門的应用能力である問題設定から解決までのプロセスを理解し、具体的解決に導くことができるか。
- ⑥ コミュニケーション能力と国際的通用性：博士の学位にふさわしいプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を有し、専門分野において国際的に通用する学識を備えているか。
- ⑦ 学術的成果：博士の学位を授与してよいと判定できる学術的成果を有しているか。

筑波大学大学院システム情報工学研究科各専攻における  
社会人のための博士後期課程早期修了プログラム履修に必要な論文数、取得すべき単位数

	①早期修了プログラム履修に各専攻が必要としている論文数、口頭発表数など	②早期修了プログラム受講が認められた際、取得すべき最小単位数
社会工学専攻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・査読付き学术论文2編以上(筆頭著者であることが望ましい)</li> <li>・口頭発表数は問わない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究 4単位</li> <li>・特別演習 8単位</li> <li>・その他科目履修 8単位 ※実績により単位認定可能科目あり</li> </ul> 計20単位
リスク工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・査読付き学术论文1編以上(筆頭著者であることが望ましい)</li> <li>・口頭発表資料2編以上(査読付き国際会議論文が望ましい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究 6単位</li> <li>・特別演習 2単位</li> <li>・その他科目履修 4単位</li> </ul> 計12単位
コンピュータサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・査読付き学术雑誌論文1編以上(最近5年以内で、筆頭著者であるもの)</li> <li>・国際会議における口頭発表論文2編以上(主たる著者であることが望ましい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究 6単位</li> <li>・特別演習A 2単位</li> <li>・特別演習B又はその他科目履修 2単位</li> </ul> 計10単位
知能機能システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・査読付き学术雑誌論文2編以上(1編は査読付き国際会議論文も可。原則として筆頭著者であること)</li> <li>・国際会議口頭発表1件以上(原則として筆頭著者であり、自身が発表したもの。ポスター発表を含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究 6単位</li> <li>・特別演習Ⅶ、Ⅷ 各2単位 計4単位</li> <li>・その他科目履修 2単位</li> </ul> 計12単位
構造エネルギー工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・査読付き学术论文2編以上(筆頭著者であることが望ましい)</li> <li>・口頭発表資料2編以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究 6単位</li> <li>・特別演習 2単位</li> <li>・その他科目履修 2単位</li> </ul> 計10単位